

憶えていますか？

思い出のキャンパス

目を閉じると今も鮮やかに浮かぶ、懐かしい風景。皆さんは憶えていますか。あの日、学友と歩き、熱く語り合った思い出のキャンパスを...。もう一度振り返ってみませんか、あの頃を。



▲陶壁

大学正門にあるこの陶壁は、本学の建学精神「敬神愛人」がテーマ。聖書に出てくる「ぶどう」と「鳩」を背景に、指導者「キリスト」を中心に、周囲に教えを乞う信徒たちが配されています。1979年、地元の陶芸作家河本五郎氏をはじめ、若手陶芸作家諸氏によって製作されました。



▲噴水「双葉」

学生諸君の成長をイメージして「双葉」と名付けられたこの噴水は、麦粒苑(ばくりゅうえん)の中心に設けられています。その水には地下水を利用、聖書の「わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう」(「新約聖書」ヨハネによる福音書4章14節)という言葉が刻み込まれています。地元陶芸作家、加藤元男氏のデザインによるものです。



▲「合唱」

「あめにはさかえみ神にあれや、つちにはやすき、人にあれや」と、高らかに神への賛美を歌う鳩輪の壁画装飾。陶芸作家、加藤元男氏によるデザインです。



▲「伝統」

「伝統」をテーマに、啓明館入口の階段斜面を利用し、その左右に配されたオブジェです。後援古窯群の中心に位置する本学にちなみ、紀元12世紀ごろ隆盛であった「登り窯」の破片を敷き詰め、古窯が抽象的に表現されています。陶芸作家、加藤元男氏によるデザインです。



▲「社人の奏」

1989年2月希望館の竣工を記念して、21回父母会卒業記念事業として寄贈されました。木下五郎氏の作によるものです。

「開花」をテーマに新しいことに挑戦!



今年も名古屋学院大学大学祭が10月31日、11月1日、3日に行われました。天気にも恵まれ、無事に開催することができました。今年メインテーマ「開花」のもとに、新しいことにチャレンジしてみようということで、初日はパレードのトリクライブ、最終日には後夜祭で、トコゲストライブを共に野外ステージで行い、名学祭史上最高の動員数を記録しました。また母体恒例となつたステージ上の三輪車レースや、高校生を対象としたキャンパスガイダンス、二階食堂での軽音楽部によるライブ、栄光館での公開映画「ダイクシティ」特別試写会など、たくさんのイベントが行われました。名学祭の最後を飾る後夜祭では色々なイベントがあり大変でしたが、他大学の皆さんや他サークルの皆さんの協力を得て無事に終了することができました。大学祭を開催するにあたり、お世話になった方々に大学祭実行委員会一同、厚くお礼申し上げます。

名古屋学院大学「教育振興資金」募金にご協力を

会員各位には、益々隆昌のごことお喜び申し上げます。この度、名古屋学院大学から本同窓会に対して、「教育振興資金」の募金活動について協力依頼がございました。今回の募金の趣旨は同封されています。募金趣意書に述べられていますが、大学は厳しい財政状況の中にあるけれども、教育環境の整備・充実が大学発展の条件であるとして、それらの事業資金の一助として、「教育振興資金」の募金活動を行いたい。ついては、理解と協力をお願いしたいとの内容でありました。

本同窓会理事会におかれ、「募金協力の件」について協議した結果、母校発展の助になると思われ、募金の趣旨に全面的に賛同することを承りました。つきましては、会員各位におかれましては、厳しい経済環境にあるとは存じますが、募金の趣旨に深いご理解をいただき、出来る限りで結構ですので協力いただきたくお願い申し上げます。

(平成10年11月)

名古屋学院大学同窓会 会長 占部憲

5月15日(金)の理事会において同窓会の理事・監事が下記のように選任されました。

1998年度名古屋学院大学同窓会 理事・監事

理事	占部 憲一	71E	会長	東邦アストリー(株)
理事	山本 茂一	70E	副会長	名古屋車輛(株)
理事	伊藤 博義	70E	副会長	凸版印刷(株)
理事	富田 博史	71E	副会長	(株)ティーモーション
理事	塚本 久	70E	事務局長	愛知県議員
理事	長瀬 憲八郎	71E	広報委員長	古川設備工業(株)
理事	下村 直己	73E		(株)下栄
理事	笠井 修	73E		エーワ織工(株)
理事	山田 弘一	76E		山田青果(株)
理事	古川 雅章	78E	総務委員長	和興(株)
理事	伊藤 暁	77E		伊藤製作所
理事	須崎 英晴	78E		品野台開発(株)
監事	水谷 文穂	69E		(株)三油商会
監事	生駒 豊作	70E		名古屋学院大学